

同価入札時における順位決定方法について

建設工事及び測量、建設コンサルタント業務等の入札において、同価の入札をした者が2者以上あるときは、入札参加者が応札時に入力した任意の3桁(「000」を除く)の数字「くじ番号」を利用した同価くじを行い、当該同価グループ内での順位を決定します。

よって、落札者(又は落札候補者)を同価グループ内から選ぶ場合においては、当該同価グループ内で同価くじ順位が1位となった者が落札者(又は落札候補者)となります。

具体的には、次の手順によって同価くじを行います。

■ 順位決定の手順

- ① 各入札者は、電子入札システムで入札金額を登録する際、任意の3桁(「000」を除く)の数字「くじ番号」を画面内の「くじ番号」欄に入力します。
- ② 電子入札システムが入札金額登録を受理した時刻のミリ秒を「到着ミリ秒」とし、3桁の数字としてシステムが自動的に取得します。
- ③ 「くじ番号」と「到着ミリ秒」の和の値を求め、算出された値を「決定くじ番号」とします。なお、和の値が4桁となった場合は、下3桁の値を採用します。
- ④ 開札の結果、同価入札をした者に対し、電子入札システムが入札金額登録を受理した日時の早い者から順に、0から番号を割り当て(0, 1, 2・・・)、「同価到着整理番号」とします。
※同価となったグループの入札者のうち、入札金額登録を受理した日時がミリ秒まで同時刻の者が2者以上あるときは、当該同価グループ内での「同価到着整理番号」は、業者番号の小さい者から順に付与するものとします。
- ⑤ 同価の入札をした者の「決定くじ番号」の和を求めます。
- ⑥ ⑤で求めた、「決定くじ番号」の和を、同価入札をした者の数で除し、余りの値を求めます。
(除した答(商)は、0を含む自然数(0, 1, 2・・・)とし、「決定くじ番号」の和が0の場合は、商及び余りは0とします。例えば、「決定くじ番号」の和が1722で、同価入札をした者の数が5の場合、 $1722 \div 5 = 344$ 余り2となります。商は、'344.4'とはなりません。)
- ⑦ ⑥で求めた余りの値と、④で割り当てた「同価到着整理番号」が一致した入札者が、当該同価グループ内での第1順位者となります。
- ⑧ 同価となったグループ内での次順位以降の順位決定については、第1順位者となった者を起点として「同価到着整理番号」の昇順に順位を付与し、「同価到着整理番号」の一番大きい値に達した後は、「同価到着整理番号」が0の者を起点として昇順に順位を付与します。
- ⑨ 上記の方法により、すべての同価グループ(失格となったものを除く。)について順位を決定します。

【例】A～Eの5社が、同価入札の場合

業者	入力くじ番号	到着ミリ秒	決定くじ番号	電子入札システムが入札金額登録を受理した日時	同価到着整理番号	同価くじ順位	順位
A社	353	125	478	平成27年10月22日 午前09時15分31秒125	0	4	第4順位者
B社	021	013	034	平成27年10月22日 午前11時37分13秒013	1	5	第5順位者
C社	613	989	602	平成27年10月22日 午後01時23分05秒989	2	1	第1順位者
D社	875	342	217	平成27年10月22日 午後03時03分58秒342	3	2	第2順位者
E社	379	012	391	平成27年10月23日 午後08時28分41秒012	4	3	第3順位者

【順位決定方法】

同価入札をした者の「決定くじ番号」の和は、 $478 + 034 + 602 + 217 + 391 = 1722$

$1722 \div 5$ (同価入札をした者の数) = 344 余り2

よって、当該同価グループ内での第1順位者は、「同価到着整理番号」が「2」のC社となる。

■ 備考

- ・各入札参加者の「くじ番号」の情報は、開札執行時や入札情報公開システムなどで公表します。
- ・全登録業者の業者番号は、契約課ホームページの「業者名簿」のページで事前に公表します。
- ・共同企業体(JV)による入札時には、第1構成員の業者番号を適用します。